

201444005A

厚生労働科学研究委託費

長寿科学研究開発事業

在宅療養者に対する地域単位の  
夜間休日臨時対応体制のあり方に関する研究  
平成26年度 委託業務成果報告書

業務主任者 吉江 悟

平成27(2015)年3月

本報告書は、厚生労働省の科学研究費委託費（長寿科学研究開発事業）による委託業務として、東京大学が実施した平成26年度「在宅療養者に対する地域単位の夜間休日臨時対応体制のあり方に関する研究」の成果を取りまとめたものです。

厚生労働科学研究委託費

長寿科学研究開発事業

在宅療養者に対する地域単位の  
夜間休日臨時対応体制のあり方に関する研究  
平成26年度 委託業務成果報告書

業務主任者 吉江 悟

平成27(2015)年3月

## 目次

研究要旨 .....	1
A. 研究目的 .....	2
B. 研究方法 .....	2
C. 研究結果 .....	10
結果 1. 質問紙の回収結果 .....	10
1-1. 第一段階：協力意向の調査 .....	10
1-2. 第二段階：実調査 .....	11
結果 2. 診療所医師の回答 .....	12
2-1. 回答者の属性 .....	12
2-2. 回答者の所属機関の属性 .....	15
2-3. 臨時対応事例の情報 .....	30
2-4. 臨時対応事例に関する事前の取り決め .....	38
2-5. 普段の臨時対応体制 .....	45
2-6. 地域の臨時対応体制についての考え .....	56
2-7. 仕事や臨時対応体制についての考え .....	63
2-8. 職業性ストレス：JCQ への回答 .....	66
2-9. ワーク・ファミリー・コンフリクト：WFCS への回答 .....	68
2-10. 蓄積疲労度：CFSI-18 への回答 .....	72
結果 3. 訪問看護師の回答 .....	73
3-1. 回答者の属性 .....	73
3-2. 回答者の所属機関の属性 .....	77
3-3. 臨時対応事例の情報 .....	93
3-4. 臨時対応事例に関する事前の取り決め .....	101
3-5. 普段の臨時対応体制 .....	109
3-6. 地域の臨時対応体制についての考え .....	120
3-7. 仕事や臨時対応体制についての考え .....	127
3-8. 職業性ストレス：JCQ への回答 .....	130
3-9. ワーク・ファミリー・コンフリクト：WFCS への回答 .....	132
3-10. 蓄積疲労度：CFSI-18 への回答 .....	136
結果 4. 患者の回答 .....	137
4-1. 回答者の属性 .....	137
4-2. 臨時対応事例の情報 .....	140
4-3. 臨時対応事例が起きる前の状況に関する情報 .....	145
4-4. 在宅生活に関する考え .....	148
結果 5. 家族の回答 .....	151
5-1. 回答者の属性 .....	151
5-2. 臨時対応事例の情報 .....	155
5-3. 臨時対応事例が起きる前の状況に関する情報 .....	157
5-4. 在宅生活に対する考え .....	161
5-5. 介護負担感：J-ZBI の回答 .....	164

結果 6. 診療所医師と訪問看護師の回答の比較 .....	166
6-1. 臨時対応が発生した理由 .....	166
6-2. 患者の転帰 .....	167
6-3. 医学的見地からみた臨時対応の必要性 .....	167
6-4. 選択した事例において実際の対応以外に取り得た対応 .....	168
6-5. 選択した事例における夜間休日臨時対応の事前の取り決め .....	170
6-6. 夜間休日の連絡方法の事前説明 .....	171
6-7. 予測される状態と対応方法の事前説明 .....	172
結果 7. 診療所医師の回答と患者の回答の比較 .....	174
7-1. 臨時対応が発生した理由 .....	174
7-2. 患者の転帰 .....	175
7-3. 夜間休日の連絡方法の事前説明 .....	175
7-4. 予測される状態と対応方法の事前説明 .....	176
結果 8. 診療所医師の回答と家族の回答の比較 .....	178
8-1. 夜間休日の連絡方法の事前説明 .....	178
8-2. 予測される状態と対応方法の事前説明 .....	178
結果 9. 訪問看護師の回答と患者の回答の比較 .....	180
9-1. 臨時対応が発生した理由 .....	180
9-2. 患者の転帰 .....	181
9-3. 夜間休日の連絡方法の事前説明 .....	181
9-4. 予測される状態と対応方法の事前説明 .....	182
結果 10. 訪問看護師の回答と家族の回答の比較 .....	184
10-1. 夜間休日の連絡方法の事前説明 .....	184
10-2. 予測される状態と対応方法の事前説明 .....	185
結果 11. 患者の回答と家族の回答の比較 .....	187
11-1. 選択された事例における連絡時の迷い .....	187
11-2. 選択された事例における連絡を迷った時間 .....	187
11-3. 選択された事例における対応への安心度、満足度 .....	188
11-4. 過去 3 か月の夜間休日連絡件数 .....	189
11-5. 夜間休日の連絡方法の事前説明 .....	189
11-6. 予測される状態と対応方法の事前説明 .....	190
11-7. 医師、看護師に知らせずに救急車を呼んだ経験 .....	192
11-8. 夜間休日に医師や訪問看護師に連絡しても繋がらなかった経験 .....	192
11-9. 全般的な夜間休日臨時対応への安心度、満足度 .....	193
11-10. 安心して自宅で過ごせる往診体制 .....	194
D. 考察 .....	195
E. 結論 .....	198
参考資料 .....	201

表 1	本調査で使用了 Job Content Questionnaire (JCQ) の質問項目 .....	5
表 2	JCQ の下位尺度の計算方法 .....	6
表 3	ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度 (WFCS) の質問項目 .....	6
表 4	ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度 (WFCS) の計算方法 .....	7
表 5	簡約版蓄積疲労徴候スケール 18 項目 (CFSI-18) の項目 .....	8
表 6	Zarit 介護負担尺度日本語版短縮版の項目 .....	8
表 7	Zarit 介護負担尺度日本語版短縮版の計算方法 .....	8
表 8	第一段階の回収結果 .....	10
表 9	第二段階の回収結果 .....	11
表 10	性別 (n=383) .....	12
表 11	年齢の記述統計 (n=378) .....	12
表 12	年齢階級別分布 (n=377) .....	12
表 13	医師としての経験年数 (n=376) .....	13
表 14	訪問診療の経験年数 (n=370) .....	13
表 15	職位 (n=381) .....	13
表 16	配偶者の有無 (n=382) .....	13
表 17	子供の有無 (n=380) .....	13
表 18	家庭での役割 (複数回答、n=405) .....	14
表 19	通勤時間 (n=380) .....	14
表 20	前年の収入 (n=334) .....	14
表 21	医師数 (実人員) (n=359) .....	15
表 22	医師数 (実人員) の階級別分布 (n=359) .....	15
表 23	医師数 (院長の親族) (n=327) .....	16
表 24	医師数 (院長の親族) の度数分布 (n=327) .....	16
表 25	医師数 (常勤換算数) (n=338) .....	16
表 26	医師数 (常勤換算数) の階級別分布 (n=338) .....	16
表 27	看護師数 (常勤換算数) (n=350) .....	17
表 28	看護師数 (常勤換算数) の階級別分布 (n=350) .....	17
表 29	事務職員数 (常勤換算数) (n=355) .....	18
表 30	事務職員数 (常勤換算数) の階級別分布 (n=355) .....	18
表 31	病床の有無 (n=362) .....	19
表 32	法人格の有無 (n=358) .....	19
表 33	訪問看護ステーション併設の有無 (n=363) .....	19
表 34	所属する診療所の種別 (n=337) .....	19
表 35	夜間：基本手当 (円/一晚) (n=149) .....	20
表 36	夜間：基本手当 (円/一晚) の階級別分布 (n=149) .....	20
表 37	夜間：臨時訪問 (円/臨時訪問 1 回) (n=123) .....	20
表 38	夜間：臨時訪問 (円/臨時訪問 1 回) の階級別分布 (n=123) .....	20
表 39	休日：基本手当 (円/日中) (n=153) .....	21
表 40	休日：基本手当 (円/日中) の階級別分布 (n=153) .....	21
表 41	休日：臨時訪問 (円/臨時訪問 1 回) (n=122) .....	21
表 42	休日：臨時訪問 (円/臨時訪問 1 回) の階級別分布 (n=122) .....	21

表 43	過去 3 か月の訪問診療患者数 (月平均) (n=370) .....	22
表 44	過去 3 か月の訪問診療患者数 (月平均) の階級別分布 (n=370) .....	22
表 45	過去 3 か月の往診回数 (月平均) (n=362) .....	23
表 46	過去 3 か月の往診回数 (月平均) の階級別分布 (n=362) .....	23
表 47	過去 3 か月の緊急往診の回数 (月平均) (n=358) .....	23
表 48	過去 3 か月の緊急往診の回数 (月平均) の階級別分布 (n=358) .....	24
表 49	過去 3 か月の夜間 (深夜除く) 往診の回数 (月平均) (n=356) .....	25
表 50	過去 3 か月の夜間 (深夜除く) 往診の回数 (月平均) の階級別分布 (n=356) ..	25
表 51	過去 3 か月の深夜往診の回数 (月平均) (n=353) .....	26
表 52	過去 3 か月の深夜往診の回数 (月平均) の階級別分布 (n=353) .....	26
表 53	過去 3 か月の看取り加算の算定人数 (月平均) (n=363) .....	26
表 54	過去 3 か月の看取り加算の算定人数 (月平均) の階級別分布 (n=363) .....	26
表 55	過去 3 か月のターミナルケア加算の算定人数 (月平均) (n=353) .....	27
表 56	過去 3 か月のターミナルケア加算の算定人数 (月平均) の階級別分布 (n=353) .....	27
表 57	過去 3 か月の在宅がん医療総合診療料の算定人数 (月平均) (n=354) .....	28
表 58	過去 3 か月の在宅がん医療総合診療料の算定人数 (月平均) の階級別分布 (n=354) .....	28
表 59	過去 3 か月の外来患者延べ人数 (月平均) (n=354) .....	29
表 60	過去 3 か月の外来患者延べ人数 (月平均) の階級別分布 (n=354) .....	29
表 61	臨時対応が行われた日時 (n=296) .....	30
表 62	患者の性別 (n=331) .....	31
表 63	患者の年齢の記述統計 (n=304) .....	31
表 64	患者の年齢階級別分布 (n=304) .....	31
表 65	患者の主たる疾患名 (n=252) .....	32
表 66	患者の処置特性 (複数回答、n=333) .....	32
表 67	患者の要介護度 (n=298) .....	33
表 68	患者の世帯構成 (n=320) .....	33
表 69	訪問診療の開始年 (n=284) .....	34
表 70	過去 3 か月で夜間休日臨時対応を行った回数 (n=309) .....	34
表 71	夜間休日臨時対応が発生した理由 (複数回答、n=327) .....	35
表 72	連絡してきた方 (n=310) .....	35
表 73	連絡を受けた時の居場所 (n=308) .....	35
表 74	連絡を受けた後の対応 (n=297) .....	36
表 75	すぐに訪問した理由 (複数回答、n=196) .....	36
表 76	患者の転帰 (n=306) .....	37
表 77	医学的見地からみた臨時対応の必要性 (n=309) .....	37
表 78	実際の対応以外に取り得た方法 (複数回答、n=327) .....	37
表 79	夜間・休日の臨時連絡を受ける体制の取り決めの有無 (n=319) .....	38
表 80	患者・家族から最初の連絡を受ける機関 (n=264) .....	38
表 81	患者・家族から最初に連絡を受ける職種 (n=265) .....	38
表 82	患者・家族から最初の連絡を受けた方が判断に迷った場合の対応方法 (n=264) .....	39

表 83	夜間休日臨時対応できる医師の有無 (n=315)	39
表 84	夜間休日臨時対応できる医師の人数 (n=64)	39
表 85	夜間休日臨時対応できる医師の人数 (n=315)	40
表 86	夜間休日臨時対応できる医師の人数の度数分布 (n=315)	40
表 87	夜間休日臨時対応できる医師 (非常勤) の人数 (n=43)	40
表 88	夜間休日臨時対応できる医師 (非常勤) の人数の度数分布 (n=43)	40
表 89	夜間休日臨時対応できる医師 (臨時対応のみ) の人数 (n=38)	41
表 90	夜間休日臨時対応できる医師 (臨時対応のみ) の人数の度数分布 (n=38)	41
表 91	担当医師間での夜間休日臨時対応の当番順 (n=77)	41
表 92	所属先以外の機関との取り決めの有無 (n=316)	42
表 93	取り決めをしている機関の種別 (複数回答、n=88)	42
表 94	取り決めの内容 (n=87)	42
表 95	所属先以外の機関との順番の回し方 (n=79)	43
表 96	患者・家族に対する夜間休日の連絡方法の説明の有無 (n=318)	43
表 97	患者・家族に対する予測される状態と対応方法の説明の有無 (n=318)	43
表 98	予測される状態と対応方法を説明していた職種 (n=222)	44
表 99	予測される状態と対応方法に関する説明の理解度・患者 (n=274)	44
表 100	予測される状態と対応方法に関する説明の理解度・家族 (n=276)	44
表 101	所属先での夜間休日の連絡・対応体制の有無 (n=376)	45
表 102	直近3か月の夜間休日連絡件数 (n=334)	45
表 103	直近3か月の夜間休日連絡件数の階級別分布 (n=334)	45
表 104	直近3か月の夜間休日連絡への対応内訳 (n=334)	46
表 105	所属先の夜間休日臨時対応方針 (複数回答、n=349)	46
表 106	患者・家族からのファーストコールを受ける機関 (n=341)	47
表 107	患者・家族からのファーストコールを受ける職種 (n=340)	47
表 108	判断に迷った場合のバックアップ体制 (n=327)	47
表 109	診療所で夜間休日臨時対応をしている医師の数 (n=341)	48
表 110	複数人で夜間休日臨時対応をしている診療所における医師の数 (n=70)	48
表 111	夜間休日臨時対応をする医師間での当番順の回し方 (n=68)	48
表 112	他診療所との夜間休日臨時対応に関する取り決めの有無 (n=342)	49
表 113	夜間休日臨時対応の取り決めをしている機関数 (n=104)	49
表 114	夜間休日臨時対応の取り決めをしている機関数の度数分布 (n=342)	49
表 115	夜間休日臨時対応の取り決めをしている機関の種別 (複数回答、n=106)	50
表 116	夜間休日臨時対応に関する取り決めの内容 (n=97)	50
表 117	夜間休日臨時対応に関する取り決めの内容・その他の回答 (自由記述)	51
表 118	他機関との夜間休日臨時対応の順番の回し方 (n=100)	52
表 119	夜間休日臨時対応の当番時の居場所・所要時間 (n=316)	53
表 120	夜間休日臨時対応の当番時の居場所・種別 (n=315)	53
表 121	夜間休日臨時対応の当番時の飲酒 (n=325)	53
表 122	患者・家族への夜間・緊急時の連絡方法の伝達の有無 (n=387)	54
表 123	患者・家族に伝えている夜間・緊急時の到着時間の目安 (n=325)	54
表 124	患者・家族に対する予測される状態と対応方法の伝達の有無 (n=383)	54
表 125	予測される状態と対応方法を説明する職種 (n=285)	55



表 126	地域での往診体制整備の可能性 (n=372)	56
表 127	地域での往診体制整備の条件 (複数回答、n=238)	56
表 128	地域単位の夜間休日の往診体制を整えるための条件・その他の回答 (自由記述)	57
表 129	地域での往診体制整備の条件で特に重要なもの (n=101)	58
表 130	地域単位の夜間休日往診体制を整えられないと回答した理由 (自由記述)	59
表 131	「現在の仕事について満足している」への回答 (n=362)	63
表 132	「現在の仕事をこのまま続けたいと思う」への回答 (n=362)	63
表 133	「現在の夜間休日の臨時対応体制を続けたいと思う」への回答 (n=362)	63
表 134	「現在の夜間休日の臨時対応体制を継続することは可能だと思う」への回答 (n=361)	64
表 135	「夜間休日の臨時対応により翌日以降の業務に悪影響を与える」への回答 (n=360)	64
表 136	「私の仕事は身体的に負担が大きい」への回答 (n=361)	64
表 137	「私の仕事は精神的に負担が大きい」への回答 (n=361)	65
表 138	JCQ の回答 (n=384)	66
表 139	JCQ の仕事のコントロール感 (Decision Latitude) の得点分布 (n=366)	67
表 140	JCQ の仕事の要求度 (Psychological Demands) の得点分布 (n=373)	67
表 141	WFCS の回答 (n=363)	68
表 142	時間に基づく仕事から家庭への葛藤の得点分布 (n=363)	70
表 143	時間に基づく家庭から仕事への葛藤の得点分布 (n=359)	70
表 144	ストレス反応に基づく仕事から家庭への葛藤の得点分布 (n=362)	70
表 145	ストレス反応に基づく家庭から仕事への葛藤の得点分布 (n=363)	70
表 146	行動に基づく仕事から家庭への葛藤の得点分布 (n=358)	70
表 147	行動に基づく家庭から仕事への葛藤の得点分布 (n=359)	70
表 148	仕事から家庭への葛藤の得点分布 (n=357)	71
表 149	家庭から仕事への葛藤の得点分布 (n=357)	71
表 150	WFCS 総得点の分布 (n=354)	71
表 151	CFSI-18 の回答 (n=405)	72
表 152	CFSI-18 の得点分布 (n=405)	72
表 153	性別 (n=549)	73
表 154	年齢の記述統計 (n=541)	73
表 155	年齢階級別分布 (n=541)	73
表 156	看護師としての経験年数 (n=543)	74
表 157	訪問看護の経験年数 (n=542)	74
表 158	職位 (n=542)	74
表 159	配偶者の有無 (n=546)	74
表 160	子供の有無 (n=547)	74
表 161	家庭での役割 (n=563)	75
表 162	通勤時間 (n=549)	75
表 163	前年の収入 (n=524)	76
表 164	看護師数 (実人員) (n=545)	77
表 165	看護師数 (実人員) の階級別分布 (n=545)	77

表 166	看護師数（常勤換算数）（n=525）	77
表 167	看護師数（常勤換算数）の階級別分布（n=525）	78
表 168	事務職員数（常勤換算数）（n=526）	78
表 169	事務職員数（常勤換算数）の階級別分布（n=526）	78
表 170	開設主体（n=541）	79
表 171	併設している施設・事業所（複数回答、n=563）	79
表 172	所属機関の種別（n=458）	80
表 173	夜間：基本手当（円／一晚）（n=331）	80
表 174	夜間：基本手当（円／一晚）の階級別分布（n=331）	80
表 175	夜間：臨時訪問（円／臨時訪問 1 回）（n=182）	81
表 176	夜間：臨時訪問（円／臨時訪問 1 回）の階級別分布（n=182）	81
表 177	休日：基本手当（円／日中）（n=318）	82
表 178	休日：基本手当（円／日中）の階級別分布（n=318）	82
表 179	休日：臨時訪問（円／臨時訪問 1 回）（n=178）	83
表 180	休日：臨時訪問（円／臨時訪問 1 回）の階級別分布（n=178）	83
表 181	24 時間連絡体制加算の有無（n=495）	84
表 182	24 時間対応体制加算の有無（n=529）	84
表 183	過去 3 か月の介護保険の利用者数（月平均）（n=503）	84
表 184	過去 3 か月の介護保険の利用者数（月平均）の階級別分布（n=503）	84
表 185	過去 3 か月の介護保険利用者のうち、緊急訪問の回数（月平均）	85
表 186	過去 3 か月の介護保険利用者のうち、緊急訪問の回数（月平均）の階級別分布 （n=463）	85
表 187	過去 3 か月の介護保険利用者のうち、早朝・夜間の訪問回数（月平均）	86
表 188	過去 3 か月の介護保険利用者のうち、早朝・夜間の訪問回数（月平均）の階級別 分布（n=469）	86
表 189	過去 3 か月の介護保険利用者のうち、深夜の訪問回数（月平均）	86
表 190	過去 3 か月の介護保険利用者のうち、深夜の訪問回数（月平均）の階級別分布 （n=469）	86
表 191	過去 3 か月の医療保険の利用者数（月平均）	87
表 192	過去 3 か月の医療保険の利用者数（月平均）の階級別分布（n=495）	87
表 193	過去 3 か月の医療保険利用者のうち、緊急訪問の回数（月平均）	88
表 194	過去 3 か月の医療保険利用者のうち、緊急訪問の回数の階級別分布（n=470）	88
表 195	過去 3 か月の医療保険利用者のうち、早朝・夜間の訪問回数（月平均）	89
表 196	過去 3 か月の医療保険利用者のうち、早朝・夜間の訪問回数の階級別分布（n=475）	89
表 197	過去 3 か月の医療保険利用者のうち、深夜の訪問回数（月平均）	90
表 198	過去 3 か月の医療保険利用者のうち、深夜の訪問回数の階級別分布（n=471）	90
表 199	過去 3 か月のターミナルケアの対象者数（介護保険）	91
表 200	過去 3 か月のターミナルケアの対象者数（介護保険）の階級別分布（n=487）	91
表 201	過去 3 か月のターミナルケアの対象者数（医療保険）	92
表 202	過去 3 か月のターミナルケアの対象者数（医療保険）の階級別分布（n=493）	92

表 203	臨時対応が行われた日時 (n=477)	93
表 204	患者の性別 (n=503)	94
表 205	患者の年齢の記述統計 (n=463)	94
表 206	患者の年齢階級別分布 (n=463)	94
表 207	患者の主たる疾患名 (n=410)	95
表 208	患者の処置特性 (複数回答、n=506)	95
表 209	患者の要介護度 (n=457)	96
表 210	患者の世帯構成 (n=485)	96
表 211	訪問看護の開始年 (n=462)	97
表 212	過去3か月で夜間休日臨時対応を行った回数 (n=467)	97
表 213	過去3か月で夜間休日臨時対応を行った回数の階級別分布 (n=467)	97
表 214	夜間休日臨時対応が発生した理由 (複数回答、n=506)	98
表 215	連絡してきた方 (n=486)	98
表 216	連絡を受けた時の居場所 (n=487)	98
表 217	連絡を受けた後の対応 (n=463)	99
表 218	すぐに訪問した理由 (複数回答、n=390)	99
表 219	患者の転帰 (n=482)	100
表 220	医学的見地からみた臨時対応の必要性 (n=486)	100
表 221	実際の対応以外に取り得た方法 (複数回答、n=504)	100
表 222	夜間・休日の臨時連絡を受ける体制の取り決めの有無 (n=499)	101
表 223	患者・家族から最初の連絡を受ける機関 (n=474)	101
表 224	患者・家族から最初に連絡を受ける職種 (n=477)	101
表 225	患者・家族から最初の連絡を受けた方が判断に迷った場合の対応方法 (n=457)	102
表 226	夜間休日臨時対応できる看護師の有無 (n=494)	102
表 227	夜間休日臨時対応できる看護師の人数 (n=403)	103
表 228	夜間休日臨時対応できる看護師の人数 (n=403)	103
表 229	夜間休日臨時対応できる看護師の人数の階級別分布 (n=492)	103
表 230	夜間休日臨時対応できる看護師 (非常勤) の人数 (n=315)	103
表 231	夜間休日臨時対応できる看護師 (非常勤) の人数の度数分布 (n=315)	104
表 232	夜間休日臨時対応できる看護師 (臨時対応のみ) の人数 (n=278)	104
表 233	夜間休日臨時対応できる看護師 (臨時対応のみ) の人数の度数分布 (n=278)	104
表 234	担当看護師間での夜間休日臨時対応の当番順 (n=391)	105
表 235	所属先以外の機関との取り決めの有無 (n=491)	105
表 236	取り決めをしている機関の種別 (複数回答、n=129)	105
表 237	取り決めの内容 (n=110)	106
表 238	所属先以外の機関との順番の回し方 (n=102)	106
表 239	患者・家族に対する夜間休日の連絡方法の説明の有無 (n=499)	107
表 240	患者・家族に対する予測される状態と対応方法の説明の有無 (n=498)	107
表 241	予測される状態と対応方法を説明していた職種 (n=391)	107
表 242	予測される状態と対応法訪問診療に関する説明の理解度・患者 (n=478)	108
表 243	予測される状態と対応法訪問診療に関する説明の理解度・家族 (n=473)	108

表 244	所属先での夜間休日の連絡・対応体制の有無 (n=533)	109
表 245	直近3か月での夜間休日連絡件数 (n=481)	109
表 246	直近3か月での夜間休日連絡件数の階級別分布 (n=481)	109
表 247	直近3か月の夜間休日連絡への対応内訳 (n=481)	110
表 248	所属先の夜間休日臨時対応方針 (複数回答、n=523)	110
表 249	患者・家族からのファーストコールを受ける機関 (n=518)	111
表 250	患者・家族からのファーストコールを受ける職種 (n=518)	111
表 251	判断に迷った場合のバックアップ体制 (n=492)	111
表 252	事業所で夜間休日臨時対応をしている看護師の数 (n=513)	112
表 253	複数人で夜間休日臨時対応をしている事業所における看護師の数 (n=357)	112
表 254	夜間休日臨時対応をする看護師間での当番順の回し方 (n=341)	112
表 255	他診療所との夜間休日臨時対応に関する取り決めの有無 (n=509)	113
表 256	夜間休日臨時対応の取り決めをしている事業所数 (n=108)	113
表 257	夜間休日臨時対応の取り決めをしている事業所数の階級別分布 (n=473)	113
表 258	夜間休日臨時対応の取り決めをしている機関の種別 (複数回答、n=121)	114
表 259	普段の夜間休日臨時対応に関する取り決めの内容 (n=102)	114
表 260	普段の夜間休日臨時対応の取り決め・その他の回答 (自由記述)	115
表 261	他機関との夜間休日臨時対応の順番の回し方 (n=100)	117
表 262	夜間休日臨時対応の当番時の居場所・所要時間 (n=503)	117
表 263	夜間休日臨時対応の当番時の居場所・種別 (n=512)	118
表 264	夜間休日臨時対応の当番時の飲酒 (n=510)	118
表 265	患者・家族への夜間・緊急時の連絡方法の伝達の有無 (n=545)	118
表 266	患者・家族に伝えている夜間・緊急時の到着時間の目安 (n=511)	119
表 267	患者・家族に対する予測される状態と対応方法の伝達の有無 (n=542)	119
表 268	予測される状態と対応方法を説明する職種 (n=449)	119
表 269	地域での往診体制整備の可能性 (n=516)	120
表 270	地域での往診体制整備の条件 (複数回答、n=373)	120
表 271	地域単位の夜間休日の訪問看護体制を整えるための条件・その他の回答 (自由記述)	121
表 272	地域での往診体制整備の条件で特に重要なもの (n=205)	122
表 273	地域単位の夜間休日の訪問看護体制を整えられないと回答した理由 (自由記述)	123
表 274	「現在の仕事について満足している」への回答 (n=548)	127
表 275	「現在の仕事をこのまま続けたいと思う」への回答 (n=549)	127
表 276	「現在の夜間休日の臨時対応体制を続けたいと思う」への回答 (n=545)	127
表 277	「現在の夜間休日の臨時対応体制を継続することは可能だと思う」への回答 (n=545)	128
表 278	「夜間休日の臨時対応により翌日以降の業務に悪影響を与える」への回答	128
表 279	「私の仕事は身体的に負担が大きい」への回答 (n=549)	128
表 280	「私の仕事は精神的に負担が大きい」への回答 (n=549)	129
表 281	JCQ の回答 (n=551)	130
表 282	JCQ の仕事のコントロール感 (Decision Latitude) の得点分布 (n=516)	131
表 283	JCQ の仕事の要求度 (Psychological Demands) の得点分布 (n=542)	131

表 284	WFCS の回答 (n=549) .....	132
表 285	時間に基づく仕事から家庭への葛藤の得点分布 (n=549) .....	134
表 286	時間に基づく家庭から仕事への葛藤の得点分布 (n=547) .....	134
表 287	ストレス反応に基づく仕事から家庭への葛藤の得点分布 (n=544) .....	134
表 288	ストレス反応に基づく家庭から仕事への葛藤の得点分布 (n=545) .....	134
表 289	行動に基づく仕事から家庭への葛藤の得点分布 (n=545) .....	134
表 290	行動に基づく家庭から仕事への葛藤の得点分布 (n=545) .....	134
表 291	仕事から家庭への葛藤の得点分布 (n=541) .....	135
表 292	家庭から仕事への葛藤の得点分布 (n=541) .....	135
表 293	WFCS 総得点の分布 (n=536) .....	135
表 294	CFSI-18 の回答 (n=563) .....	136
表 295	CFSI-18 の得点分布 (n=563) .....	136
表 296	回答者の性別 (n=530) .....	137
表 297	回答者の年齢 (n=526) .....	137
表 298	回答者の年齢階級別分布 (n=526) .....	137
表 299	世帯構成 (n=525) .....	138
表 300	自身の主たる疾患名 (n=480) .....	138
表 301	要介護度 (n=513) .....	139
表 302	訪問診療・看護開始年 (n=485) .....	139
表 303	臨時対応日時 (n=475) .....	140
表 304	臨時対応が発生した理由 (n=496) .....	141
表 305	臨時対応時の連絡に使用した手段 (n=481) .....	141
表 306	臨時対応時の連絡者 (n=483) .....	141
表 307	臨時対応時の連絡相手 (n=475) .....	142
表 308	連絡したときの医師・看護師の対応 (n=489) .....	142
表 309	臨時対応後の転帰 (n=479) .....	143
表 310	選択された事例における連絡時の迷い (n=475) .....	143
表 311	選択された事例における迷った時間 (n=464) .....	143
表 312	選択された事例における対応への安心度 (n=480) .....	144
表 313	選択された事例における対応への満足度 (n=478) .....	144
表 314	過去 3 か月で夜間休日に医師や看護師へ連絡した回数 (n=479) .....	145
表 315	夜間休日の連絡先に関する説明の有無 (n=426) .....	145
表 316	夜間休日の連絡先 (n=391) .....	145
表 317	予測される状態と対応方法に関する事前説明の有無 (n=421) .....	146
表 318	予測される状態と対応方法を説明していた職種 (n=370) .....	146
表 319	予測される状態と対応方法に関する事前説明の理解度 (n=377) .....	146
表 320	医師や訪問看護師に連絡せずに、救急車を呼んだ経験の有無 (n=478) .....	147
表 321	夜間休日に医師や訪問看護師に連絡しても繋がらなかった経験 (n=470) .....	147
表 322	全般的な夜間休日臨時対応への安心度 (n=514) .....	148
表 323	全般的な夜間休日臨時対応への満足度 (n=512) .....	148
表 324	安心して自宅で過ごすための往診体制に関する考え (n=508) .....	149
表 325	安心して自宅で過ごすための往診体制・その他の回答 (自由記述) .....	149
表 326	回答者の性別 (n=478) .....	151

表 327	回答者の年齢の記述統計 (n=464)	151
表 328	回答者の年齢階級別分布 (n=464)	151
表 329	患者との同居の有無 (n=472)	152
表 330	介護を手伝う家族の有無 (n=472)	152
表 331	一日の直接介護時間の記述統計 (n=387)	152
表 332	仕事の有無 (n=469)	152
表 333	患者からみた続柄 (n=471)	153
表 334	介護者自身の主たる疾患名 (n=449)	153
表 335	介護者自身の要介護度 (n=459)	154
表 336	選択された事例における連絡時の迷い (n=390)	155
表 337	選択された事例における連絡を迷った時間 (n=373)	155
表 338	選択された事例における対応への安心度 (n=397)	156
表 339	選択された事例における対応への満足度 (n=396)	156
表 340	過去3か月で夜間休日に連絡した回数 (n=395)	157
表 341	夜間休日の連絡先に関する説明の有無 (n=367)	157
表 342	夜間休日の連絡先 (n=329)	158
表 343	予測される状態と対応方法に関する事前説明の有無 (n=363)	158
表 344	予測される状態と対応方法を説明していた職種 (n=318)	159
表 345	予測される状態と対応方法に関する事前説明の理解度 (n=324)	159
表 346	医師や訪問看護師に連絡せずに、救急車を呼んだ経験の有無 (n=397)	159
表 347	夜間休日に医師や訪問看護師に連絡しても繋がらなかった経験の有無 (n=392)	160
表 348	全般的な夜間休日臨時対応への安心度 (n=472)	161
表 349	全般的な夜間休日臨時対応への満足度 (n=473)	161
表 350	安心して自宅で過ごすための往診体制に関する考え (n=467)	162
表 351	安心して自宅で過ごせるための往診体制・その他の回答 (自由記述)	162
表 352	J-ZBI の回答 (n=466)	164
表 353	J-ZBI の得点分布 (n=456)	165
表 354	臨時対応が発生した理由・状態急変の比較 (n=158)	166
表 355	臨時対応が発生した理由・事故の比較 (n=158)	166
表 356	臨時対応が発生した理由・患者の不安の比較 (n=158)	166
表 357	臨時対応が発生した理由・家族の不安の比較 (n=158)	166
表 358	患者の転帰に関する回答の比較 (n=132)	167
表 359	医学的見地からみた臨時対応の必要性に関する回答の比較 (n=132)	167
表 360	実際の対応以外に取り得た対応・電話で話して終了の比較 (n=158)	168
表 361	実際の対応以外に取り得た対応・すぐに医師が訪問の比較 (n=158)	168
表 362	実際の対応以外に取り得た対応・すぐに看護師が訪問の比較 (n=158)	168
表 363	実際の対応以外に取り得た対応・朝まで待って医師が訪問の比較 (n=158)	168
表 364	実際の対応以外に取り得た対応・朝まで待って看護師が訪問の比較 (n=158)	169
表 365	実際の対応以外に取り得た対応・すぐには行かなかったが朝より前に医師が訪問の比較 (n=158)	169
表 366	実際の対応以外に取り得た対応・すぐには行かなかったが朝より前に看護師が訪	

問の比較 (n=158) .....	169
表 367 実際の対応以外に取り得た対応・訪問せずに病院への救急搬送を指示の比較 (n=158) .....	169
表 368 選択した事例における夜間休日臨時対応の事前の取り決めの有無の比較 (n=147) .....	170
表 369 取り決めていた最初の連絡機関の比較 (n=123) .....	170
表 370 取り決めていた最初の連絡職種の比較 (n=127) .....	170
表 371 取り決めていた最初の対応方法の比較 (n=122) .....	171
表 372 夜間休日の連絡方法に関する事前説明の有無の比較 (n=158) .....	171
表 373 予測される状態と対応方法の事前説明の有無の比較 (n=149) .....	172
表 374 予測される状態と対応方法を患者・家族に説明していた職種の比較 (n=79) .....	172
表 375 予測される状態と対応方法の説明に対する患者の理解度の比較 (n=133) .....	173
表 376 予測される状態と対応方法の説明に対する家族の理解度の比較 (n=135) .....	173
表 377 臨時対応が発生した理由・状態急変の比較 (n=236) .....	174
表 378 臨時対応が発生した理由・事故の比較 (n=236) .....	174
表 379 臨時対応が発生した理由・患者の不安の比較 (n=236) .....	174
表 380 臨時対応が発生した理由・家族の不安の比較 (n=236) .....	174
表 381 患者の転帰に関する比較 (n=203) .....	175
表 382 夜間休日の連絡方法の事前説明の有無の比較 (n=190) .....	175
表 383 夜間休日の最初の連絡先の比較 (n=141) .....	176
表 384 予測される状態と対応方法の事前説明の有無の比較 (n=186) .....	176
表 385 予測される状態と対応方法を説明した職種の比較 (n=110) .....	176
表 386 予測される状態と対応方法に関する説明の理解度の比較 (n=145) .....	177
表 387 夜間休日の連絡方法の事前説明の有無に関する比較 (n=174) .....	178
表 388 夜間休日の最初の連絡機関に関する比較 (n=129) .....	178
表 389 予測される状態と対応方法の事前説明の有無に関する比較 (n=169) .....	178
表 390 予測される状態と対応方法を説明した職種に関する比較 (n=100) .....	179
表 391 予測される状態と対応方法に関する説明の理解度の比較 (n=135) .....	179
表 392 臨時対応が発生した理由・状態急変の比較 (n=395) .....	180
表 393 臨時対応が発生した理由・事故の比較 (n=395) .....	180
表 394 臨時対応が発生した理由・患者の不安の比較 (n=395) .....	180
表 395 臨時対応が発生した理由・家族の不安の比較 (n=395) .....	180
表 396 臨時対応事例における患者の転帰の比較 (n=360) .....	181
表 397 夜間休日の連絡方法の事前説明の有無に関する回答の比較 (n=333) .....	181
表 398 夜間休日の連絡時の最初の連絡機関に関する回答の比較 (n=297) .....	182
表 399 予測される状態と対応方法の事前説明の有無の比較 (n=327) .....	182
表 400 予測される状態と対応方法を説明していた職種 (n=233) .....	182
表 401 予測される状態と対応方法に関する説明の理解度の比較 (n=289) .....	183
表 402 夜間休日の連絡方法の事前説明の有無の比較 (n=311) .....	184
表 403 夜間休日の連絡時の最初の連絡機関に関する回答の比較 (n=268) .....	184
表 404 予測される状態と対応方法の事前説明の有無の比較 (n=308) .....	185
表 405 予測される状態と対応方法を説明していた職種に関する回答の比較 (n=224) .....	185

表 406	予測される状態と対応方法に関する説明の理解度の比較 (n=277)	186
表 407	選択された事例における連絡時の迷いに関する回答の比較 (n=375)	187
表 408	選択された事例における連絡を迷った時間の比較 (n=359)	187
表 409	選択された事例における対応への安心度の比較 (n=385)	188
表 410	選択された事例における対応への満足度の比較 (n=384)	188
表 411	過去 3 か月の夜間休日連絡件数に関する回答の比較 (n=423)	189
表 412	夜間休日の連絡方法の事前説明の有無の比較 (n=366)	189
表 413	夜間休日の連絡時の最初の連絡機関の比較 (n=320)	190
表 414	予測される状態と対応方法の事前説明の有無の比較 (n=322)	190
表 415	予測される状態と対応方法を説明していた職種に関する回答の比較 (n=304)	191
表 416	予測される状態と対応法訪問診療に関する説明の理解度の比較 (n=310)	191
表 417	医師、看護師に知らせずに救急車を呼んだ経験に関する回答の比較 (n=426)	192
表 418	夜間休日に医師や訪問看護師に連絡しても繋がらなかった経験の有無の比較 (n=416)	192
表 419	全般的な夜間休日臨時対応への安心度に関する回答の比較 (n=418)	193
表 420	全般的な夜間休日臨時対応への満足度に関する回答の比較 (n=419)	193
表 421	安心して自宅で過ごせる往診体制に関する回答の比較 (n=414)	194



平成 26 年度厚生労働科学研究委託費（長寿科学研究開発事業）

委託業務成果報告

在宅療養者に対する地域単位の夜間休日臨時対応体制のあり方に関する研究

業務主任者	吉江 悟	東京大学医学部在宅医療学拠点 特任助教
研究分担者	秋下 雅弘	東京大学大学院医学系研究科老年病学分野 教授
	辻 哲夫	東京大学高齢社会総合研究機構 特任教授
	山本 則子	東京大学大学院医学系研究科成人看護学分野 教授
	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構 准教授
	永田 智子	東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野 准教授
研究協力者	成瀬 昂	東京大学大学院医学系研究科地域看護学分野 助教
	五十嵐 歩	東京大学大学院医学系研究科成人看護学分野 助教
	山中 崇	東京大学医学部在宅医療学拠点 特任准教授
	野口 麻衣子	東京大学医学部在宅医療学拠点 特任助教

### 研究要旨

在宅療養者に対する 24 時間対応体制のうち、特に夜間休日臨時対応の現状を明らかにするため、実際に在宅医療を担っている診療所、訪問看護ステーションに対する質問紙調査を行った。調査にあたっては、診療所医師、訪問看護師のそれぞれに実際に行われた臨時対応事例を選択してもらい、その事例に関する質問、および普段の臨時対応体制に関する質問、業務負担などに関する質問を尋ねた。加えて、各事例の患者・家族に対しても質問紙調査を行い、臨時対応に対する評価や在宅生活に対する考えを尋ねた。診療所医師からは 405 票、訪問看護師からは 563 票、患者から 553 票、家族から 493 票の回答が得られた。

調査の結果、現状では患者・家族の夜間休日臨時対応に対する安心度、満足度も高く、在宅療養を担う医師や看護師が患者・家族の夜間休日の緊急事態を支えていることがみてとれた。しかし、臨時対応業務が医師や看護師個人に与える心理的負担、精神的負担は大きく、家庭生活への影響も少なくないと考えられた。老年人口割合の増加や「病院から在宅へ」という流れにより、夜間休日に臨時対応を要する件数自体は増えていくことが想定されるが、患者・家族にとっては「できるだけ近くにいつでも来てくれる医療者がいてほしい」という願いがあることも改めて示唆された。

患者・家族にとって望ましい体制をできる限り整えていくとともに、医療従事者の負担を軽減し、在宅療養を支える人材を確保していくためには、より一層のサポート体制の充実が必要である。地域によって最適な連携のあり方は異なると考えられるが、先進的な取り組みを行っている地域を参考にしながら、地域の実情にあった体制を整備していくことが求められるだろう。また、時間帯によってはかかりつけの医師や看護師以外が対応せざるをえないことなど在宅療養の現実について、患者・家族の理解を得ていくような取り組みも不可欠であると考えられた。

## A. 研究目的

日本では都市部を中心としてさらに高齢化が進み、在宅療養体制の整備が必要となる。在宅医療の整備においてたびたび論点となるのが、24時間対応体制の確保である。一方で、在宅医療を担う診療所や訪問看護ステーションの人員は極めて少なく、夜間・休日も含めた24時間対応体制と職員の十分な休養機会の確保を両立するのは難しい。現状では、法人・機関単位で対処されていると推測されるが、救急医療などと同様に、機関を超えて地域単位で効率化を図っていく必要もあるだろう。

在宅医療の現場では、訪問診療を行う診療所医師が夜間休日の体制を確保していることが多くみられるが、病院と対比すると、第一報を受ける看護師、担当医制を超えた当直体制などが整備されておらず、量的不足に加えて構造的な不効率も生じている可能性がある。

そこで本研究では、在宅療養者に対する24時間対応体制のうち、特に夜間休日の体制に焦点を当て、実際に在宅医療を担っている診療所、訪問看護ステーションに対する質問紙調査を行い、現状を明らかにすることを目的とした。

## B. 研究方法

診療所医師、訪問看護師、患者・家族を対象とした自記式質問紙調査を実施した。

### 調査方法

郵送配布の自記式質問紙調査を行った。質問紙は郵送により回収した。調査は以下の二つの段階を経て実施した。(図1参照)

### 第一段階：協力意向の調査

診療所医師、訪問看護師に対して協力意向を確認する質問紙を送付した。

診療所は、医療機能情報提供制度から、在宅医療を行っている日本全国の診療所を抽出した。抽出の条件は在宅療養支援診療所の届け出が行われている診療所、もしくは在宅患者訪問診療料を算定している診療所とした。抽出の結果、在宅療養支援診療所は10,991施設、在宅患者訪問診療を届け出ている一般診療所は14,963施設であった。抽出された在宅療養支援診療所及び一般診療所から1/2抽出とし、協力意向の調査対象としては、診療所医師12,976施設（在宅療養支援診療所5,495、一般診療所7,481）とした。

訪問看護ステーションは、介護サービス情報公表システムから日本全国の訪問看護サービス事業者を抽出し(8,236事業所)、抽出された全ての8,236事業所を協力意向の調査対象とした。

対象施設及び事業所へ調査概要を記した文書を送付し、本調査に協力する意向の有無及び、夜間休日臨時対応体制に関する自由記述欄を設けた一枚の回答用紙をFAXで返信するよう依頼した。

### 第二段階：実調査

第一段階で協力意向の確認できた診療所医師、訪問看護師に対して調査一式書類を送付した。

実調査は施設及び事業所の住所地がある市町村毎に以下の4種類に振り分けて実施した(図2参照)

- a) 診療所医師が窓口となり、臨時対応の事例を選定、選択事例に関わった訪問看護師、患者・家族に質問紙を転

- 送する。
- b) 診療所医師が窓口となり、臨時対応の事例を選定、選択事例の患者・家族に質問紙を転送する。
  - c) 訪問看護師が窓口となり、臨時対応の事例を選定、選択事例に関わった診療所医師、患者・家族に質問紙を転送する。
  - d) 訪問看護師が窓口となり、臨時対応の事例を選定、選択事例の患者・家族に質問紙を転送する。

臨時対応の事例選定にあたっては、以下の条件を設定した。

- ・ 普段から訪問診療／訪問看護をしており、現在も診療中の患者
- ・ 3 か月以内に夜間休日臨時対応が発生した患者

また、選択した事例に関しては、回答者による比較ができるよう、各質問紙に共通のIDを付した。

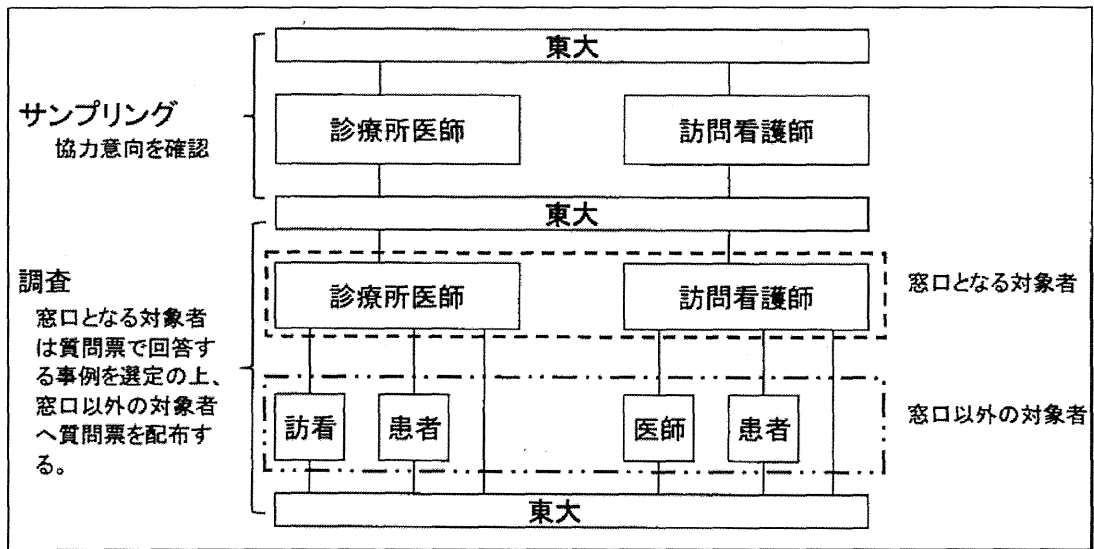


図 1 調査方法の概要

	窓口		→	質問紙			
	診療所医師	訪問看護師		診療所医師	訪問看護師	患者	家族
a)	○		→	○	○	○	○
b)	○		→	○		○	○
c)		○	→	○	○	○	○
d)		○	→		○	○	○

図 2 窓口と質問紙の組み合わせ

## 調査内容

### 1) 診療所医師、訪問看護師

回答者の属性

回答者の所属する機関の属性

選択した夜間休日臨時対応事例の情報

普段の夜間休日臨時対応体制

夜間休日臨時対応体制に対する考え

仕事に対する認識（満足度、負担感）

職業性ストレス

ワーク・ファミリー・コンフリクト

蓄積疲労度

### 2) 患者

回答者の属性

選択された夜間休日臨時対応事例の情報

夜間休日臨時対応体制に対する評価

### 3) 家族

回答者の属性

選択された夜間休日臨時対応事例の情報

夜間休日臨時対応体制に対する評価

介護負担感

### 4) 使用した尺度

#### 職業性ストレス：JCQ Job Content Questionnaire

診療所医師、訪問看護師の職業性ストレスの測定には Job Content Questionnaire (JCQ) を用いた。JCQ は Karasek が開発した<sup>1)</sup>、標準化された測定法である。本調査では、川上らが作成した日本語 22 項目版を使用した<sup>2,3)</sup>。ただし、上司の支援(4項目)、同僚の支援(4項目)は除外して表 1 の 14 項目とした。訪問診療や訪問看護といった仕事の性質上、上司や同僚といった概念が当てはまらないケースも多いと考えられた

ためである。回答にあたっては、尺度に則って「全く違う」、「違う」、「そうである」、「全くそうである」から選択するよう依頼した。

仕事のコントロール (Decision Latitude)、仕事の要求度 (Psychological Demands) の算出には表 2 の計算式を用いた。

Skill Discretion は 12 点～48 点、Decision Authority は 12 点～48 点、仕事のコントロール感は 24 点～96 点を取り、得点が高いほど仕事のコントロール感が高いことを意味する。

仕事の要求度は 12 点～48 点を取り、得点が高いほど仕事の要求度が高いことを示す。

ワーク・ファミリー・コンフリクト：ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度 (WFCS)

ワーク・ファミリー・コンフリクトとは、仕事上での役割と家庭での役割とがぶつかり合うことで発生する葛藤のことで、Kahn らによって提唱された概念である<sup>4)</sup>。本調査では、ワーク・ファミリー・コンフリクト尺度を用いて、診療所医師、訪問看護師の状況を調査した<sup>5)</sup>。調査項目は表 3 に示した。回答にあたっては、尺度に則って「全くあてはまらない」、「あまりあてはまらない」、「どちらでもない」、「そのとおりである」、「全くそのとおりである」から選択するよう依頼した。

WFCS は 6 つの下位尺度を持つ。「全くあてはまらない」を 1 点、「あまりあてはまらない」を 2 点、「どちらでもない」を 3 点、「そのとおりである」を 4 点、「全くそのとおりである」を 5 点として計算した。それぞれの計算方法を表 4 に示した。合計得点